



**「みなさんは、日々の暮らしの中に気の合う仲間やお友達がいますか？」**

5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える人と人との「つながりのある地域」をめざし「地域のお宝」としてご紹介していきます。

取材先

## 綿打地区 綿打ばやし保存会



綿打ばやし保存会は平成26年に発足された今年で9年目の会です。

綿打地区の「明和婦人会」が解散となり、婦人会役員や老人会の方々と保存会を発足し、踊りを引き継ぐ形で現在活動しています。

綿打ばやしは昭和35年(1960年)頃、当時の村長さんと地元の婦人会が考案し、作詞、作曲、振り付けを専門の方をお願いして作られました。

刈り取った稲を干す様子、田越し、田んぼの見回り、桑摘み、奉納という5つの動作があり、綿打地区の昔の農作業の様子を表現しています。

保存会では、綿打ばやしの他に新田町音頭などの練習も行っています。コロナ前は新田まつりや綿打小学校の運動会、町民運動会でも踊りました。今年は3年ぶりに開催された綿打ふれあいまつりの芸能発表の部で披露しました。

いわざき きみこ

会長 岩崎 公子さん

コロナの感染状況を見ながら、月1回の定期練習は継続して行っています。

綿打ばやしをはじめ、いろいろな踊りで体を動かすことで健康増進、脳トレにもなっていると思います。

これからも郷土芸能の伝統が途切れないように、皆で楽しみながら踊っていきたいと思います。



# 地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

わたなべ みちこ

渡辺 美智子さん 87歳

綿打ばやし保存会の他に、週に1回太田小唄体操を行っています。  
以前は日本舞踊の会に入っており、20年間活動していました。  
元気の秘訣は会に参加して、みんなと楽しく踊ること。顔を見ながらおしゃべりすることも楽しみです。  
健康の為に、意識して自転車に乗るようにしています。綿打ばやしの練習にも自転車で通っています。



こぐれ かずこ

小暮 和子さん 85歳

地区のグラウンドゴルフの会に所属しており、月に2回活動しています。  
元気の秘訣は体を動かすこと。朝起きる時にベッドの上で体操してから起きるなど、なるべく体を動かすように気を付けたり、歩く時は背筋を伸ばすように心掛けています。  
運動のために綿打ばやしに来ていますが、みんなに会えることがとても楽しみです。



せきぐち しげこ

関口 志げ子さん 76歳

地区のグラウンドゴルフ、エアリスでの健康体操にも通っています。  
以前は10年程ぐんまマラソンに出場していました。  
今はウォーキングクラブで活動しています。  
元気の秘訣は体を動かすこと。毎朝テレビ体操とダンベル体操、週に1回、パドル体操を行っています。  
また、10年以上、スバルマラソンで給水のボランティアを行っています。



## ☆チェックポイント☆

婦人会が解散しても、伝統芸能を絶やさずに踊り続けようと保存会を結成し活動を続けています。  
会に参加し、親しい仲間と踊ったり会話したりすることが会員のみなさんの元気の源になっています。

## 地域のお宝情報を募集しています!

「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけて合っている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまでお願いします!



詳しくはこちら

## お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係  
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549  
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229